



岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

令和2年3月31日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ オカヤマシキョウヤマチクイーエスディスイシンキョウ
団体名 岡山市京山地区ESD推進協議会
所在地 [REDACTED]
連絡先 [REDACTED]
フリガナ [REDACTED]
代表者氏名 [REDACTED]

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名	「やさしく走ろう京山」運動の推進
事業実施区域 (小学校区)	伊島小学校区、津島小学校区
①事業実施内容	・年間を通して「やさしく走ろう京山」運動の実施状況の報告と啓発プレート「やさしく走ろう京山」の配布やのぼり旗の設置を行った。 ・啓発プレート「やさしく走ろう京山」の配布は、京山中学校1年生の自転車通学生、伊島小学校、津島小学校の4年生の希望者に行った。また、伊島認定こども園、つしま幼稚園の希望する保護者に配布した。伊島、津島小学校の保護者役員との懇談を実施することができ、協働を呼び掛けた。 ・「京山地区地域安全パトロール隊」で、参加団体（地区内にある公立の伊島認定こども園（伊島）、幼稚園（つしま）、小学校（伊島・津島、ノートルダム清心）、中学校（京山）、高等学校（岡山工業、明誠学院、鳥城高校）、大学（岡山大学、岡山商科大学）の各教育機関、伊島学区・津島学区の交通安全対策協議会、安全安心ネットワーク、連合町内会、コミュニティー協議会、交通安全母の会等の団体と進捗状況の報告、協議、運動への協力依頼を行ってきた。 ・伊島、津島学区の様々な団体に加え、隣接の御野学区の交通関係の各種団体、岡山大学当局、岡山大学地域つながり協議会の学生、さらに岡山市、警察関係の協力を得た「自転車マナー向上協働行動」を3回実施した。 ・「自転車マナー教室」を開催した。 ・地域の絆プロジェクトだよりを発行し、「やさしく走ろう京山」運動の発信を続けた。

② 解決 を 目 指 し た 課 題	・「自転車マナー問題」の解決は岡山市京山地区の大きな課題の1つである。京山地区ESDフェスティバル「地域の絆プロジェクト」の話し合いの中で「自転車マナー問題」に取り組む必要性が強く出され、地域の絆プロジェクト企画委員会では「やさしく走ろう京山」運動を広げることとし、「自転車マナー問題」の解決を目指した。
③ 目 的 ・ 目 標 と そ の 達 成 状 況	・京山地区ESD推進協議会はSDGs目標達成に向けて総合的な取り組みを行っている。SDGsの11番目の目標「住み続けられるまちづくり」に向けて活動している。また、京山地区ESD推進協議会が地域課題と将来展望から設定した京山地区がめざす5つの地域像（目標）がある。その【目標4】「障害者や高齢者も誰もが安心して暮らせる、安全で住みよい地域」を目指して活動をしているのが、「地域の絆プロジェクト」である。 ・この自転車マナー問題は周知のように、すぐに大きな成果をあげることができない。しかし、「やさしく走ろう京山」運動を広げることによって、歩行者、自転車通行者、車両とも誰もが安心して通行できる地域になることを、期待し運動を続けていくことが何よりも重要と考えている。「この運動はいい運動なので是非に続けていってもらいたい」との声をたくさん聞いている。この声に励まされて、運動を続けていっている。 ・今まで約2800枚啓発プレート「やさしく走ろう京山」を配布し、地域関係者の自転車に付けられことによって、人びとの意識は大いに向上した。 ・京山中学の1年生、自転車通学生、自転車の乗り方教室や自転車運転免許が配布される伊島、津島小学校4年生の希望者に啓発プレート「やさしく走ろう京山」を配布した。また、伊島認定こども園、つしま幼稚園の保護者の希望者にも配布した。この運動を子育て世代へ広げることができた。 ・運動の主体として「京山地区地域安全パトロール隊」参加の各団体、さらに、今年度は隣の学区である御野学区の方、岡山大学の方と「自転車マナー向上協働行動」を大学の新学期に合わせて3回実施した。「自転車先進都市おかやま」をめざしてのモデル地区としてスタートすることができた。
④ 企 画 等 の 工 夫 と 情 報 公 開	・啓発プレート「やさしく走ろう京山」を制作し、各種会合で運動を推進していく地域の住民、生徒に配布する活動を行った。このプレートは周りの人に交通安全を呼びかけるとともに付けている本人の意識が向上することを強調して運動を進めていった。 ・伊島、津島小学校の保護者の方との懇談ができ、特に伊島小学校の保護者との懇談で実施メンバーに加わることで、「啓発プレート」より簡易な「啓発シール」作成の案をもらった。 ・「地域の絆プロジェクトだより」を年間4回、京山学区の全戸に各町内会の協力を得て配布した。このだよりには、「やさしく走ろう京山」運動の目的、意義、願い、さらに、啓発プレート「やさしく走ろう京山」の宣伝をほぼ毎号掲載した。 ・「自転車マナー向上協働行動」は岡山大学の新学期の行事として定着しつつあり、今後も続けていく道筋ができた。この取り組みは広くマスコミにも注目された。 ・「自転車マナー教室」開催した。

⑤ 次年度計画	・歩行者、自転車通行者、車両、誰もが安心して通行できる地域を目指して「やさしく走ろう京山」運動をさらに広げていく。 ・「自転車マナー向上協働行動」を、次年度も御野学区や岡山大学の方々の協力を得て実施したい。合わせて、協働行動を踏まえての「地域協働フォーラム」を開催し、「自転車先進都市おかやま」をめざしてのモデル地区としての取り組みを進めていく。さらにできれば、石井学区、中央学区との境界にある交差点で他学区との協働行動を広げたい。 ・啓発プレート「やさしく走ろう京山」の配布を次年度も行う。また、プレートより簡易な『啓発シール』を作成し、配布していく。このプレート、シールが地域関係者の自転車に付けられることによって、地域の人びとの意識はますます向上し、自転車問題についての関心も高まっていくことが期待される。京山地区ひいては岡山市の地域課題の解決が大きく進むことも期待される。 ・今年度までは主催者団体に財政的な余裕はなく、ぎりぎりの予算でこの運動を行っていたが、「こくみん共済」からの資金協力が実現し、財政的には一気に好転する見通しである。
⑥ 事業実施者としての評価・感想、審査会での助言及び意見を踏まえた改善	・交通問題は、地域住民でないとできないこと、行政でないとできないことがある。地域住民でないとできないこの運動を今後とも広げていく必要がある。交対協や安全・安心ネットワークはそれぞれ独自の目標に向かって活動を進められている。その活動と協働しながら、京山地区ESD推進協議会地域の絆プロジェクトでは、行政指導の縦割り組織ではできない活動を目指している。具体的には、学校関係や他学区などとの幅広い協働を「自転車マナー向上」に特化した運動で行っている。 ・この運動は、ESD活動（京山地区発案の「えーものを子孫の代まで」）の中で「この京山地域の課題は何か」、その地域課題をどうしたら解決できるか、解決の方向に向かわせることができるかの議論の中で必然的に生まれてきたものだ。 ・自転車マナー問題は持続可能な社会をめざすためには、どの地域にとっても共通の、そして永遠の問題である。その中で、どんな方法がよいのか。どうすれば、どのような効果が生まれるのか。すべて、試行錯誤を繰り返す運動だと考えている。 ・啓発プレート「やさしく走ろう京山」を付けていく運動（現在約2,800枚）は、自分自身を回りから守ってくれるとともに、自分自身の自転車マナー向上に役立つことが実証されたと感じている。令和4年度までに京山地区世帯数（約12,000）の1/3にあたる4,000枚を配布したい。また、啓発シールを2年間で全世帯数に配布したい。 ・「自転車マナー向上協働行動」の参加団体を増やし、参加者も年間200名を目指したい。

○自転車先進都市おかやまのモデル事業化 上記に記入しました ○マナー向上は必要な事で継続性が重要 上記に記入しました。 ○地域住民の目に留まり、交通ルールの再認識をしているかの評価 上記に記入しました。	Ⅱ おおむねできた
--	------------------

⑦事業実施にあたっての協働の状況

協働した団体・企業・大学等	協働した内容
伊島学区交通安全対策協議会	協賛者
津島学区交通安全対策協議会	協賛者
京山地区地域安全パトロール隊	協賛者
伊島学区連合町内会	協賛者
津島学区連合町内会	協賛者
伊島学区コミュニティー協議会	協賛者
津島学区コミュニティー協議会	協賛者
伊島学区交通安全母の会	協賛者
津島学区交通安全母の会	協賛者
伊島学区老人クラブ	協賛者
津島学区老人クラブ	協賛者
御野学区交通安全対策協議会	協賛者
御野学区コミュニティー協議会	協賛者
御野学区連合町内会	協賛者
御野学区地域安全パトロール隊	協賛者
岡山大学 本部	協賛者
岡山大学 地域のつながり協議会	協賛者

⑧事業実施経過

年 月 日	内 容
平成31年4月12日	地域の絆プロジェクト企画委員会
4月15日	京山地区地域安全パトロール隊
4月15日	伊島小学校 交通安全教室 プレート申込書配布
4月25日	伊島小学校 プレート配布
5月 8日	京山中学 プレート配布 伊島認定こども園プレート配布
5月14日	「自転車マナー向上協働行動」地域の絆プロジェクト企画委員会
5月20日	京山地区地域安全パトロール隊
6月 1日	地域の絆プロジェクト「だより」発行
6月11日	地域の絆プロジェクト企画委員会
6月17日	京山地区地域安全パトロール隊
6月20日	京山地区ESD推進協議会役員会
7月 4日	京山地区ESD推進協議会総会
7月 9日	地域の絆プロジェクト企画委員会
7月15日	京山地区地域安全パトロール隊
8月 6日	地域の絆プロジェクト企画委員会
8月19日	京山地区地域安全パトロール隊
8月27日	「やさしく走ろう京山」運動企画委員会
9月 1日	地域の絆プロジェクト「だより」発行
9月 3日	地域の絆プロジェクト企画委員会
9月19日	京山地区地域安全パトロール隊
9月20日	自転車マナー教室
10月 1日	地域の絆プロジェクト企画委員会
10月 8日	「自転車マナー向上協働行動」
10月21日	京山地区地域安全パトロール隊
11月 5日	地域の絆プロジェクト企画委員会
11月18日	京山地区地域安全パトロール隊
12月 1日	地域の絆プロジェクト「だより」発行
12月 5日	津島小学校 プレート申込書配布 交通安全教室
12月10日	地域の絆プロジェクト企画委員会
12月11日	津島小学校 プレート配布
12月16日	京山地区地域安全パトロール隊
令和1年1月14日	「自転車マナー向上協働行動」
1月17日	全労済訪問
1月20日	地域の絆プロジェクト企画委員会
1月21日	京山地区地域安全パトロール隊
1月25.26日	ESDフェスティバル
2月 5日	津島小PTA役員に依頼
2月 7日	伊島小PTA役員に依頼
2月17日	京山地区地域安全パトロール隊
2月20日	地域の絆プロジェクト企画委員会
2月25日	「やさしく走ろう京山」運動企画委員会

⑩ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	75, 000	75, 000	
負担金	35, 000	27, 013	
参加費			
寄付、他収入	40, 000	50, 000	寄付金:企業等
計	150, 000	152, 013	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	148, 000	152, 013	啓発プレート・のぼり のぼり用ポール、支柱支え ブロック 地域の絆だより用紙代
②食糧費			
③印刷製本費			
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	2, 000	0	
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料・賃借料			
⑩原材料費			
⑪委託料			
⑫工事請負費			
⑬報償費			
⑭保険料			
⑮旅費			
計	150, 000	152, 013	